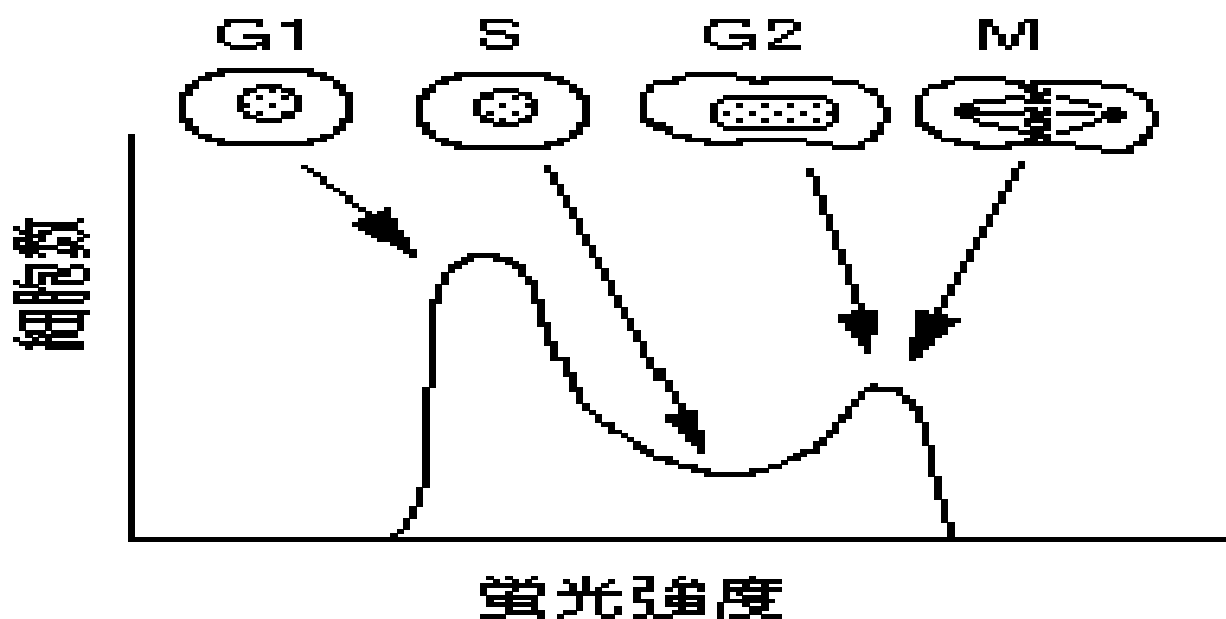


20160810

MACSQuant2.5

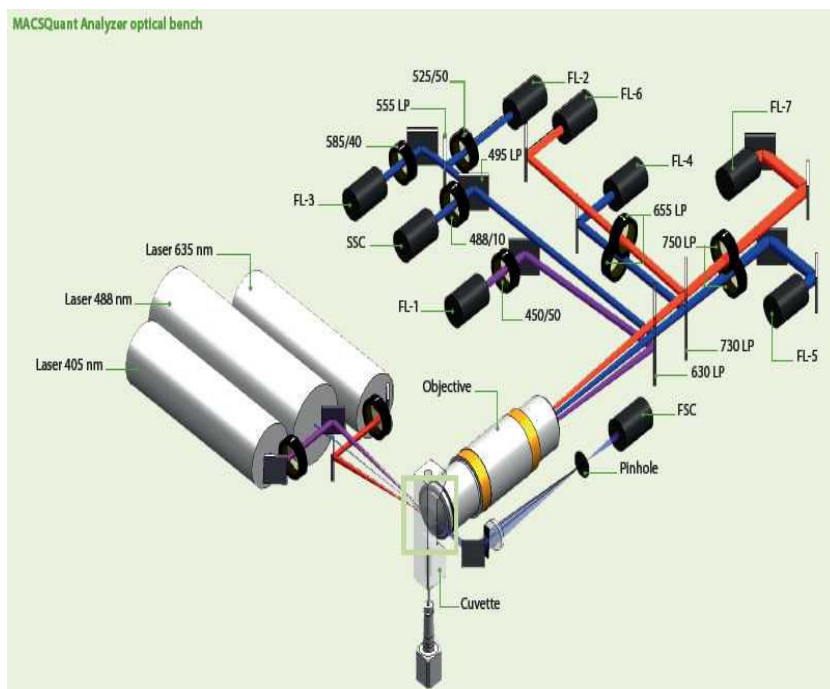
簡単説明書



Cell Cycle用

表面抗原/FlexCBAは別途
お問合せください

MACSQuant Analyzer仕様 レーザー488nm・633nm・405nm



V1-450/50

VioBlue (Alexa405)

B1-525/50

FITC/Alexa488

B2-585/40

PE/PI

B3-655-730

PI/PE-Cy5.5

B4-750LP

PE-Cy7

R1-655-730

APC (Alexa633-700)

R2-750LP

APC-Cy7

FSC-Pinhole

SSC-488/10

必要消耗品(2008年3月現在価格は参考価格です。)

キャップ	サイズ	滅菌	包装単位	単位	カタログNo.	単価
FALCON社 12X74,5 mL						
ツープозиションキャップ	5mL	滅菌済	1	500	352003	66
ツープозиションキャップ	5mL	滅菌済	25	500	352058	58
ツープозиションキャップ	5mL	滅菌済	125	1000	352054	43
キャップなし	5mL	滅菌済	125	1000	352052	30
キャップなし	5mL	非滅菌	1000	1000	352008	12
セルストレナーキャップ	5mL	滅菌済	25	500	352235	120
キャップのみ			500		352032	14
Bio-Rad						
キャップなし		非滅菌	1000	1000	223-9391	
キャップなし			96	960	223-9395	
Thermo	1.2mL		96	960	3496	
	キャップ				3426	
エッペンチューブ1.5mLは、特殊な場合を除き、使用可能です。						

96穴プレート・PCRプレート使用可能???です。注)

ホールプレート確認中

その他装着可能な製品があります。持込んで、合わせてみます。
Calbrationすれば、ほとんど使用できますが、共同利用のため制限させていただく事があります。

スタート手順

表面抗原2色用

1. スクリーンをタッチする。

2. Log IN

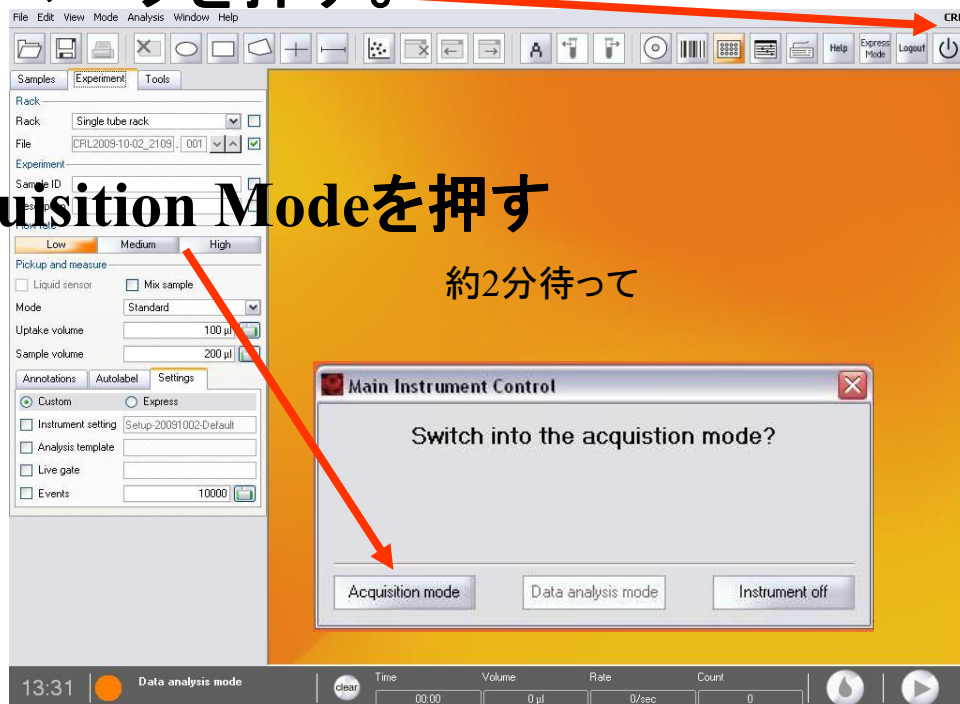


DNAを選択
passなし

Log In後5分待って次に進んで

3. マークを押す。

4. Acquisition Modeを押す

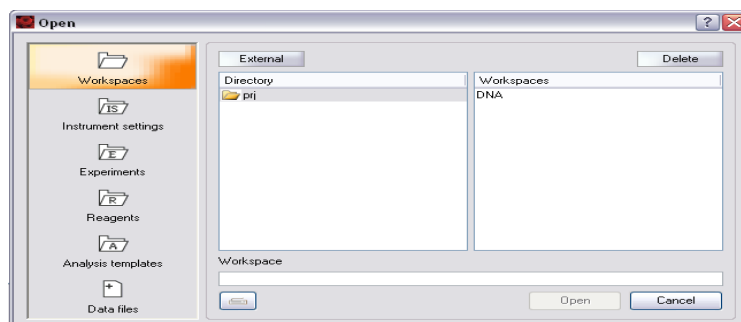
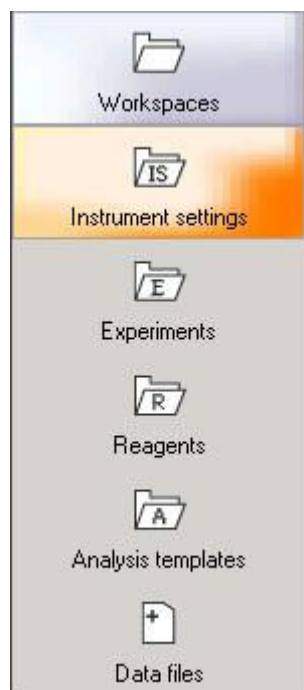


本体イルミネーションが緑になると、準備完了です。Go

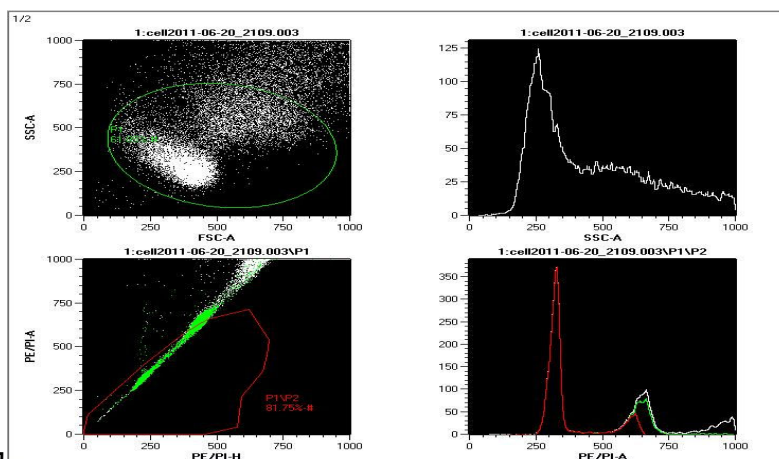
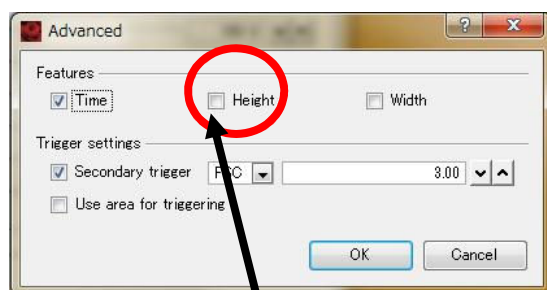
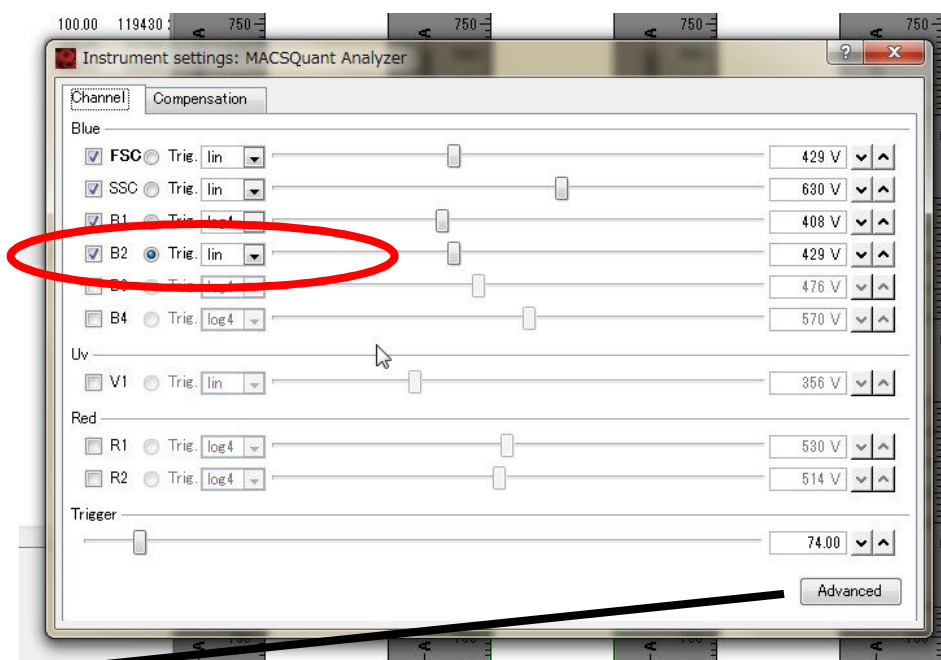


1.基本の雛形を開く

1-1.WorkSpacesを開く DNA



1-2.Setting 確認B2測定モードLin



Advancedより、Heightをチェック確認

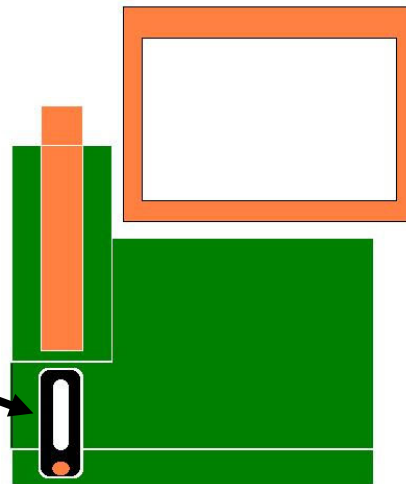
2.コントロールの設定方法

正常なサイクルのDNAコントロール

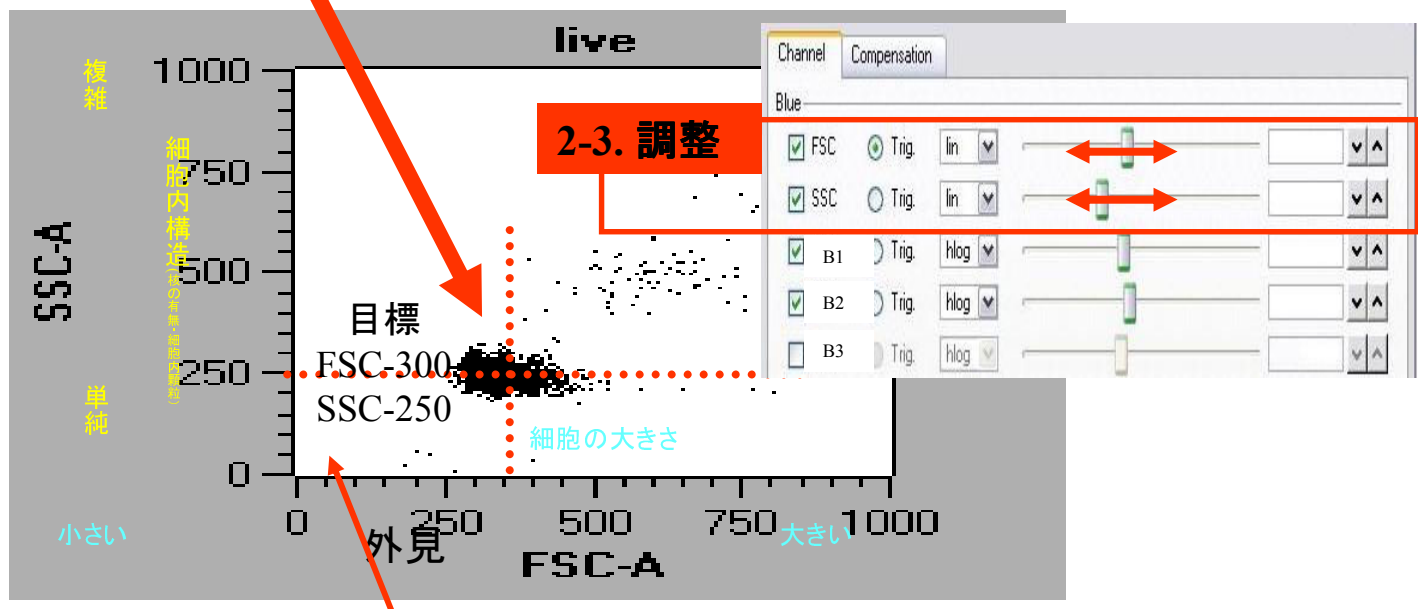
2-1.サンプルをセットし



を押す



2-2.FSC/SSCのdotで、目的サンプルが、表示されるように



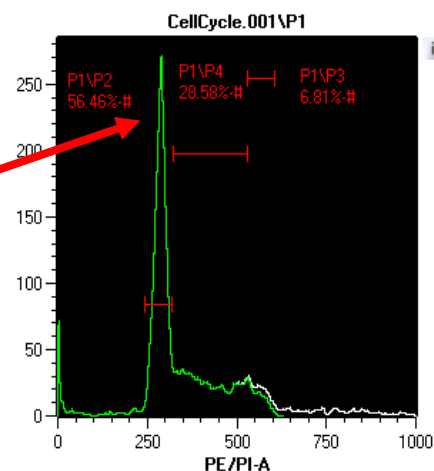
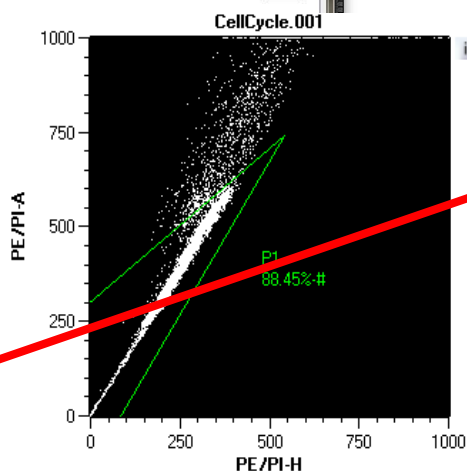
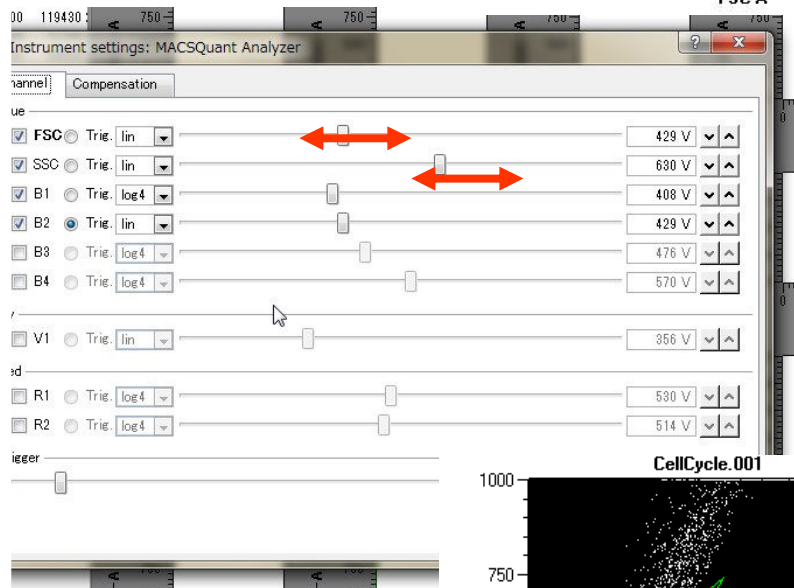
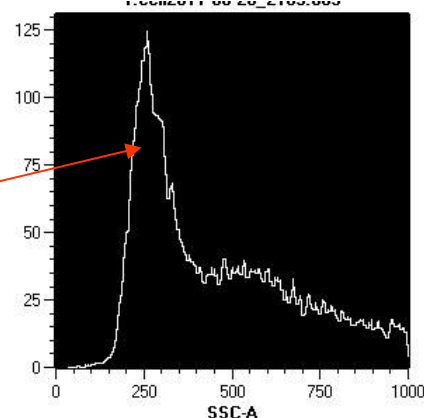
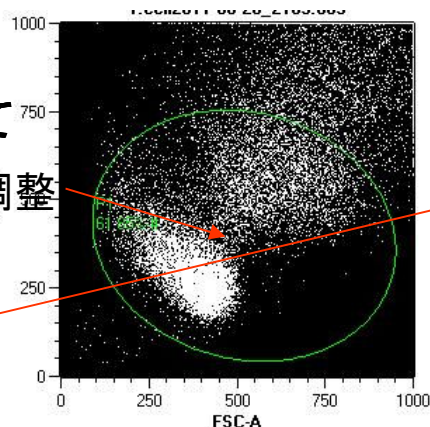
2-4.ゴミは、Trigerを上げていくと、除外できます



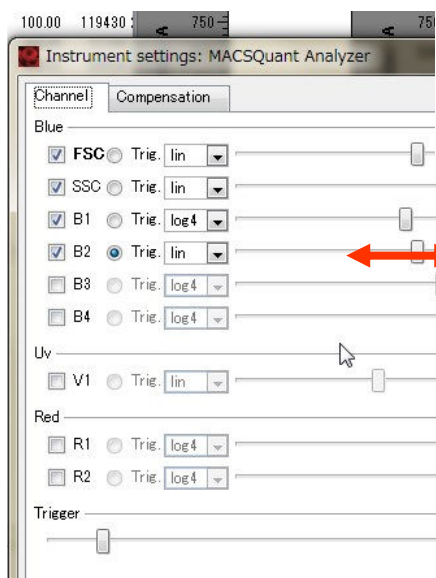
2-5.Clearを押すと、調整後のDotPlotが表示

2-6.FSC/SSCを調整して
Cellが全体表示されるよう調整

2-7.SSCを調整して
SSCのピークを250にする。

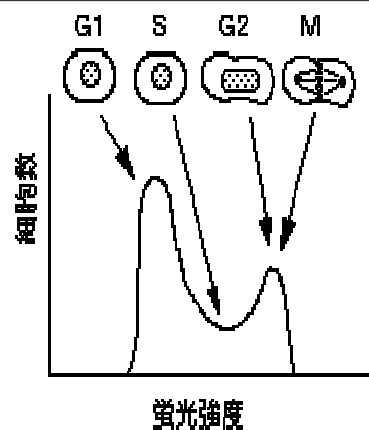


2-8.B2を調整して
G0/G1のピークを250にする。

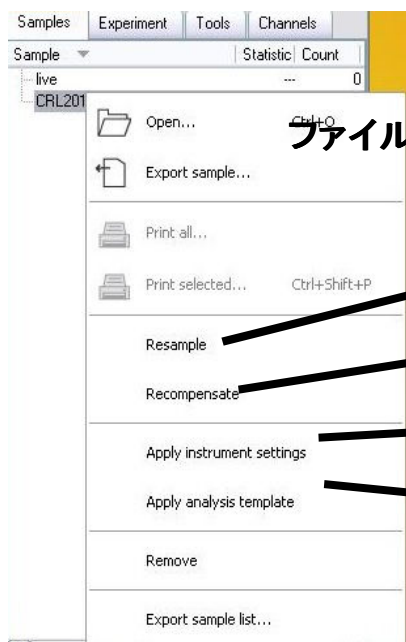
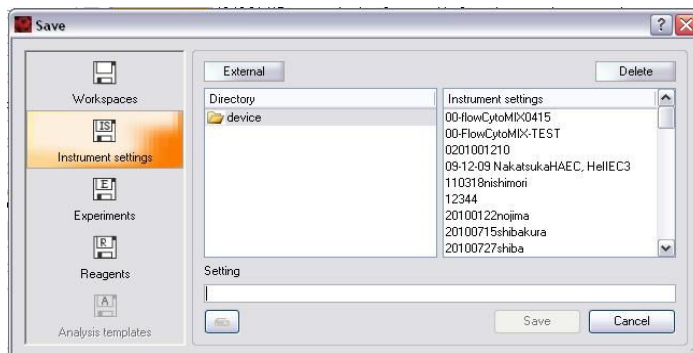
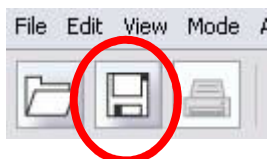


File CellCycle.001.mqd 25-Dec-2009 18:17
Sid Descr.

Region	%#	PE/PI-A Mean	PE/PI-A StdDev	PE/PI-A CV
P2	56.46	285.68	15.48	5.42
P3	6.81	558.06	20.20	3.62
P4	28.58	415.94	60.94	14.65



セッティング・その他の保存



ファイルを選択後、右クリックで、色々出来ます。

サンプルdataの設定変更

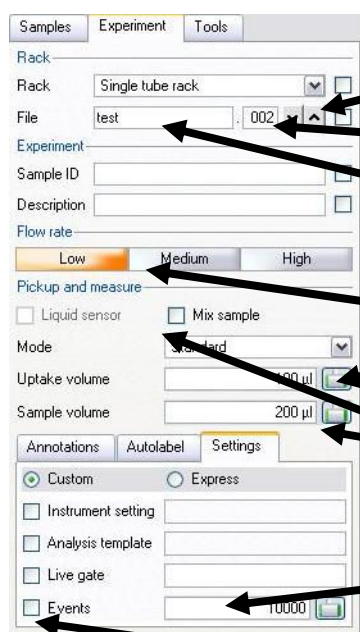
Compensateのやり直し

Instrument settingの呼び出し

Analysisの雛形の呼び出し

11.問題なければ、細胞取り込みの方法を設定する

基本限界濃度10*8/mL
450uLMax
Hi--100u 4min
Med-50u 8min
Low 20u 16min



11-1.チェックを外し

11-2.番号を矢印で、001にする

11-3.ファイルNameを入力する(名前・日時)

11-4.Sample Speed/Uptake、細胞濃度により変更

サンプルをピペッティングしたい場合は
Mix sampleにチェックし
Sample Volumeをスライダーで調整

11-5.必要細胞数を入力<20,000個以上>

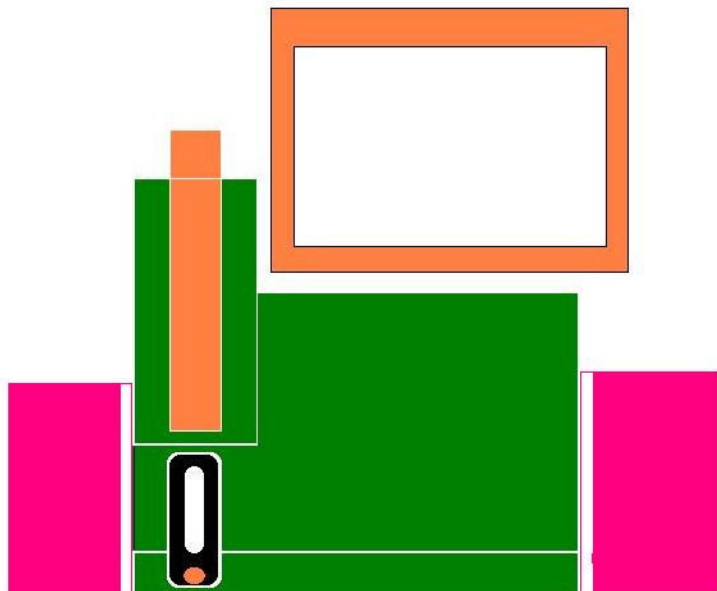
11-6.チェックを入れる。

11-7.サンプルを、セットし



を押す。

本体イルミネーションが緑になると、次のSampleを、。Go



左右イルミネーションがREDになると、危険です・・・
点滅している、Bottleを交換してください（作動中は、気泡が入らないように）



右クリック

一時停止をお勧めします。



サンプルが詰まったとき

Lineの洗浄



右クリック

ハイターをセットし、Cleanを押す。

バックフラッシュ。

Samples Experiment Scripts Tools

Rack

Rack Single tube rack

File Single tube rack

Experiment Chill 5 tube rack

Sample ID Chill 15 tube rack

Description Chill 50 tube rack

96-well

Flow rate

Low Medium High

Pickup and measure

☐ Liquid sensor ☐ Mix sample

Mode Standard

Uptake volume 150 μ l

Sample volume 200 μ l

Custom Express

☐ Instrument setting

☐ Analysis template

☒ Gate stop: ☐ P1

☒ Events 300

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

A B C D E F G H

Autoサンプラーの使用時

Racks

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Select Col

Select Used in Col

Deselect Col

Clear Col

Clear Selected in Col

A B C D E F G H

Clear Group

サンプルをピペッティングしたい場合は
Mix sampleにチェックし
Sample Volumeをスライダーで調整

Racks

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

A B C D E F G H

Select Row

Select Used in Row

Deselect Row

Clear Row

Clear Selected in Row

Clear Group

注意

Data は、予告無く削除しますので、必ず、お持ち帰りください。

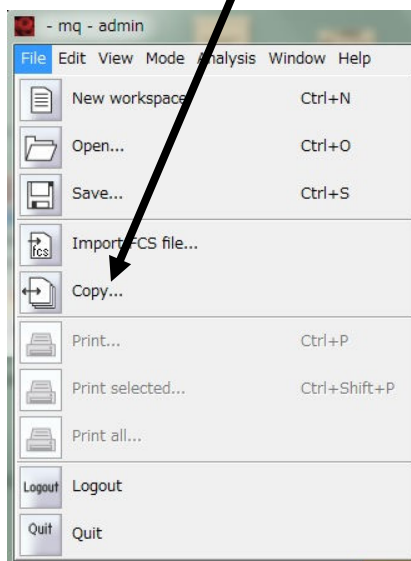
研究用機器にUSBメモリーを、使用される方は、必ず、各人コンピューターにウイルススキャンを導入してください。
高速での処理が必要なため、ウイルススキャンは、導入できません、各人で、感染していないUSBを使用してください。
また、個人dataの実行ファイルは、起動させないでください。

DATAのCopy 本体での操作

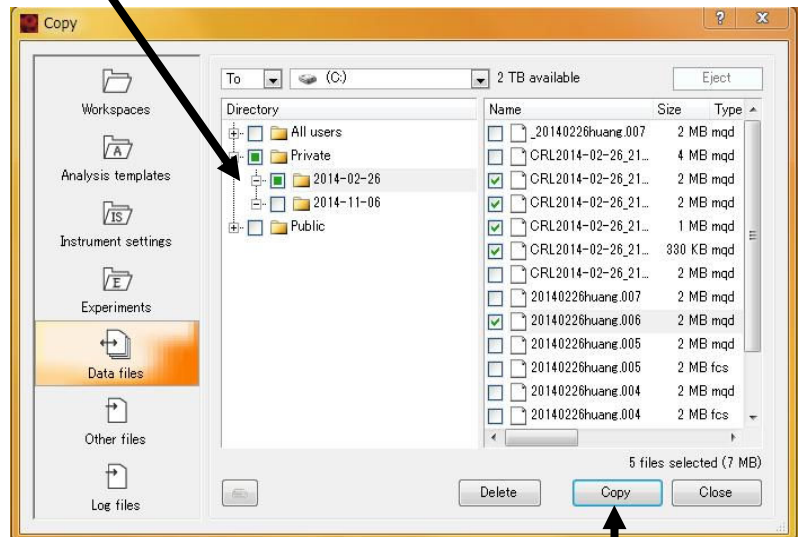
USBを、先に差し込んでください

Mqd形式のファイル:MACS独自のFormatの場合

Copyを選択



Private内の保存したdataを持ち帰る。



Copy実行



Data容量が多いと、時間が掛かります
1Gbyteで、約40分必要です

出来るだけ必要ないdataは、レコードしない・レコード細胞数を減らす



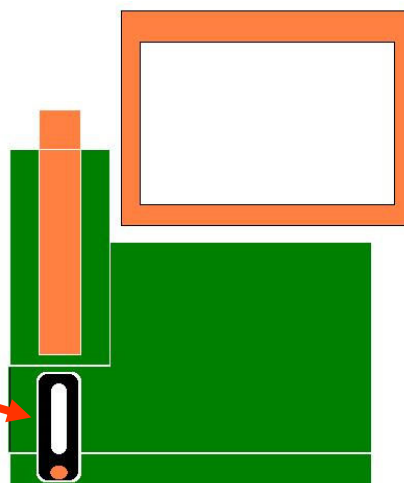
Reportで、移動を確認後、

Eject and closeで、USBを外す。

FlowJoで、dataを開く場合は、次ページの処理をしてください。

シャット ダウン

1.10%ハイターをセットする




右クリック

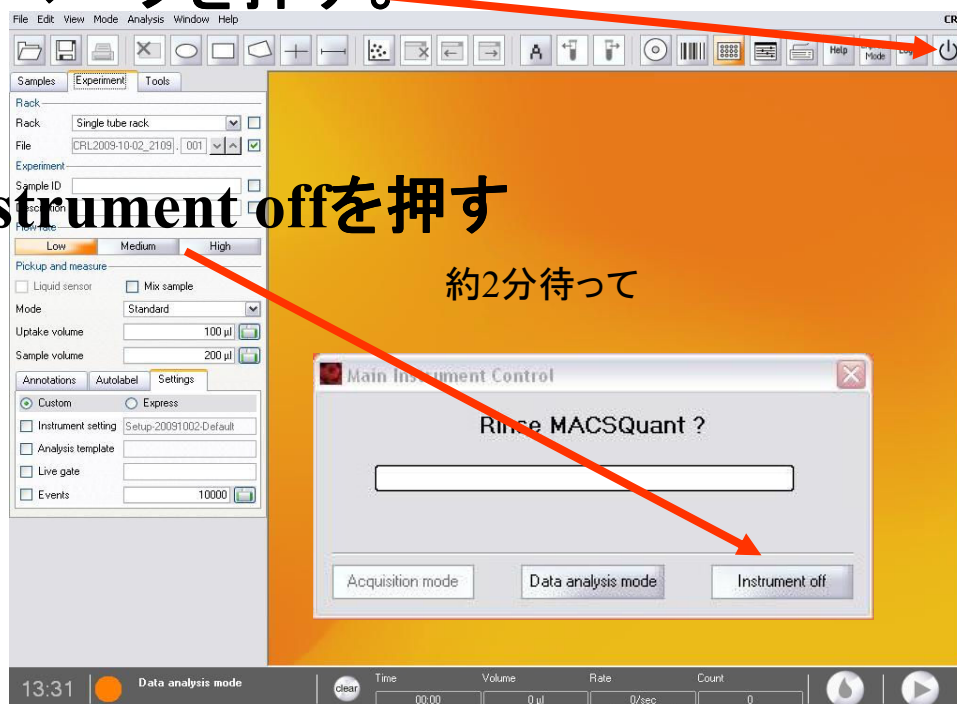


2.Cleanを押す、10分間ラインの洗浄をします。

廃液Bottleを、空の物と交換して、廃液は適切に処理してください。

3.  マークを押す。

4.Instrument offを押す



異常が生じた、Bottleが点滅します。

危険なサンプルを測定した場合は、電源が切れるまで待ち、廃液を処理してください。

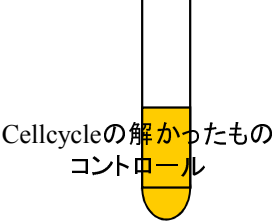
使用簿を記入して退室ください。

DNA・CellCycle時のPlot (PI染色時)

7AADでの測定はFL3をFL4に変更する
PIでも、FL4で、測定する事もあります

準備するもの

Dubulet概念

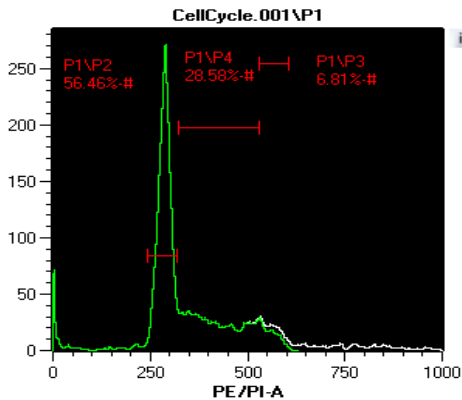
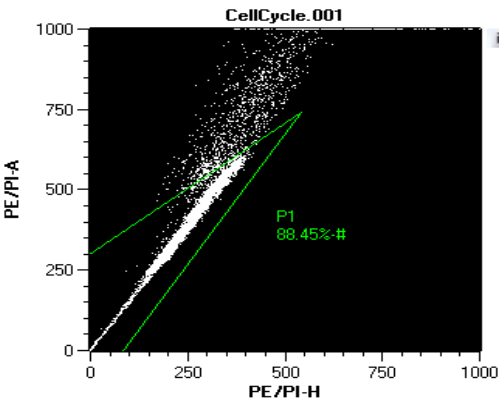
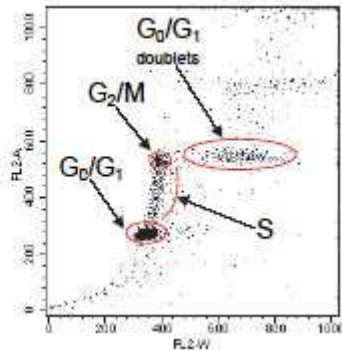
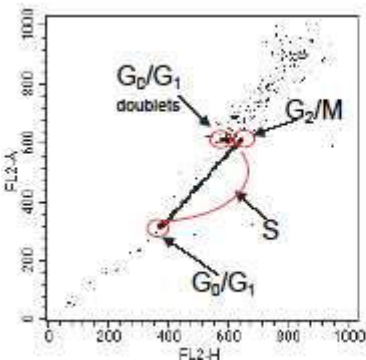
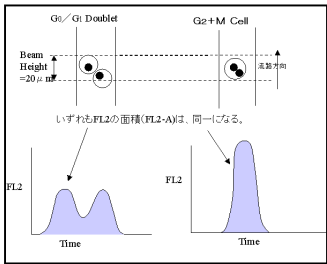
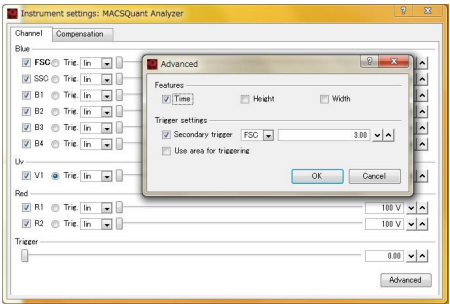


または

Cellcycleの解かったもの
コントロール

・DNA QC particles

BD社 No.349523



File CellCycle.001.mqd 25-Dec-2009 18:17
Sid Descr.

Region	%-#	PE/PI-A Mean	PE/PI-A StdDev	PE/PI-A CV
P2	56.46	285.68	15.48	5.42
P3	6.81	558.06	20.20	3.62
P4	28.58	415.94	60.94	14.65

